

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-57	中学校	数 学	数 学	1
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104 数研	706	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学1		
	707	見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの 数学1 探究ノート		

## 1. 編修の基本方針

新たな社会の姿として Society 5.0 が提唱されるなど、私たちを取り巻く環境は大きく変わろうとしています。すでにある社会的な諸問題に加え、従来には見られなかったような課題を抱えるようになる中で、未来を生きる中学生には、それらを解決に導く力と、困難に対して果敢に挑戦する積極性を身につけることが求められます。数学は、複雑な事象を簡潔に表現したり、事象の仕組みを解明したりする際に大変役に立ちます。他者と協働しながら論理的・批判的に思考し、創造的に問題を解決する学びを通して、中学生が確かな数学の力と数学を活用しようとする態度を身につけ、社会の継続的な発展・維持に主体的に参画するようになることを目指して、この教科書をつくりました。

## 教科書編修における **4** つの理念！

1

数学の基礎的・基本的な知識や技能が  
確実に身につけ、豊かな人生を送る  
ための基盤をつくります。

2

数学的な見方・考え方や自己の考えを  
表現する力が、日々の学びを通して  
自然に身につきます。

3

個に応じて力を伸ばし、創造性を培い、  
身につけたことを生活の中で活用する  
力を高めます。

4

生命や自然，伝統や文化，他国を尊重  
するとともに，社会をよりよく  
しようとする態度を養います。



# 1

数学の基礎的・基本的な知識や技能が確実に身につく、豊かな人生を送るための基盤をつくります。

- 各章の学習に入る前に、その章に関連する既習事項を確認できるようにしています。
- 丁寧な説明と豊富な例示で、生徒が独力でも読み進められるようにしています。
- 全国学力・学習状況調査等で課題が見られる内容は、とくに丁寧に扱っています。  
(例) 関数概念の理解に課題が見られることから、関数関係にあるものとならないものを比較しながら話題を展開するようにしています。
- 巻末の演習ページに、教科書本文の内容を確認できる問題を豊富に掲載しています。

ふりかえり

### 1章 正の数と負の数 の学習の前に

1. 分数と小数

$\frac{1}{5}$	$\frac{2}{5}$	$\frac{3}{5}$	$\frac{4}{5}$
$\frac{1}{10}$	$\frac{2}{10}$	$\frac{3}{10}$	$\frac{4}{10}$
$\frac{1}{10}$	$\frac{2}{10}$	$\frac{3}{10}$	$\frac{4}{10}$

0 0.1 0.2 0.3 0.4 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1

(1) 0.01 を分数で表しましょう。  
(2)  $2 \div 3$  を分数で表しましょう。  
(3)  $\frac{3}{4}$  と 0.5 で大きい方を答えましょう。

【既習事項の振り返り】(本冊 p.14 ほか)

チャレンジ編

### 第1章 正の数と負の数

力をつけよう!

● 正の数と負の数、絶対値 □ 18, 24, 25 ページ

1 下の数の中から、次の数を選びましょう。

(1) 負の数 (2) 自然数 (3) 絶対値がもっとも大きい数

-10, 2.8,  $\frac{37}{3}$ , +2, -1, 0, -22.6,  $-\frac{1}{2}$ , 12

【巻末演習ページ：チャレンジ編】(本冊 p.261 ~ 283)

# 2

数学的な見方・考え方や自己の考えを表現する力が、日々の学びを通して自然に身につきます。

- Q や TRY, その他生徒に考えさせるような問いかけを各所にバランスよく配置し、これまでと変わらない授業時数の中で、**数学的活動を効果的に取り入れることができるように**しています。
- 数学的活動を意図した場面には、生徒たちが**数学的な見方・考え方**をはたらかせながら解決に向かう姿を**対話形式**で掲載し、紙面上で**授業の流れを見てとれるように**しています。活動を行う前の見通しとしても、活動後の振り返りとしても活用することができます。
- 事実・方法・理由などを説明する問い、自己の考えを他者に伝える機会を増やすなど、**言語活動を充実させるように**しています。

TRY1 目標の達成状況を判断しよう。

次の表は、ある会社が開発した新商品の販売数を1月から5月まで月ごとにまとめたものです。この新商品の年間販売目標は、12000 個です。

月	1月	2月	3月	4月	5月
販売個数(個)	690	824	1055	1309	922

この新商品は、年間販売目標を達成できるといえますか。そう考えた理由も説明しましょう。

先生: 目標が達成できそうかは、何を根拠にして判断すればいいと思いますか?

まなとさん: ここまでの販売数の平均を求めるといいと思います。

かななさん: すべての個数をたすのは大変だから、基準を決めて考えたいよ。

月	1月	2月	3月	4月	5月
基準とのちがひ(基準: 1000 個)	-310	-176	+55	+309	-78

かななさんは何を基準にしたのかな?

【理由の説明に関する TRY と対話】(本冊 p.58)

TRY1 反比例のグラフについて説明しよう。 Link 考察

$x > 0$  のときの反比例  $y = \frac{12}{x}$  のグラフにおいて、 $x$  の値をどんどん大きくしていくとグラフはどのようになるか説明しよう。

どこかで、 $x$  軸と重なるのかな? 近づいていくだけじゃないのかな。

かななさん ひびきさん

まなとさん みかさん

近づいていくのに重ならないの? グラフから予想するのは難しいね。

先生: グラフは式からつくりましたね。式にもどって考えてみましょう。 y 軸についてはどうかな。

【反比例の式とグラフを関連づける TRY と対話】(本冊 p.144)

Q かななさんとまなとさんは、それぞれ  $5-8+4-1$  を計算しましたが、お互いの答えが異なっています。それぞれの計算について、正しいのかまちがっているのか、確かめましょう。

かななさん: 正の数と負の数をまとめて計算したよ。

まなとさん: 正の数で計算できるように、8 と 4 を入れかえたよ。

$5 - 8 + 4 - 1 = 5 + 4 - 8 - 1$	$5 - 8 + 4 - 1 = 5 - 4 + 8 - 1$
$= 9 - 9$	$= 1 + 7$
$= 0$	$= 8$

【項の考えの理解に関する Q と対話】(本冊 p.35)

# 3

個に応じて力を伸ばし、創造性を培い、身につけたことを生活の中で活用する力を高めます。

- **学んだ内容を活用して解決するタイプの TRY** を各所に設け、数学の有用性が感じられるようにしています。生徒が**多様な考え**を出し合いながら、解決を目指す活動が行えます。
- **現実の世界の問題と数学の世界の問題**をバランスよく配置し、また、必要に応じてそれらが相互につながるようにしています。
- 「説明しよう」「調べよう」など、活動的な話題を各所に設け、興味・関心に応じた取り扱いができるようにしています。
- **ICT の活用**

「補充」「資料」「イメージ」「考察」の4種類の Link アイコンでインターネットを介して教科書とデジタルコンテンツがリンクし、生徒個人や学校環境に応じた対応がとれるようにしています。



<https://www.chart.co.jp/dl/su/jhs/O1/index.html>

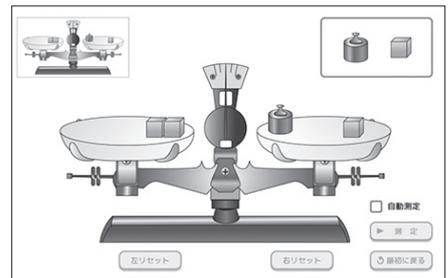


### TRY1 文字式を利用しよう。

生徒会が、ごみの減量作戦を実施したところ、5月のごみの量は、4月のごみの量より10%減少し、6月のごみの量は、5月のごみの量より20%減少しました。6月のごみの量は、4月のごみの量と比べてどれだけ減少したといえるでしょうか。



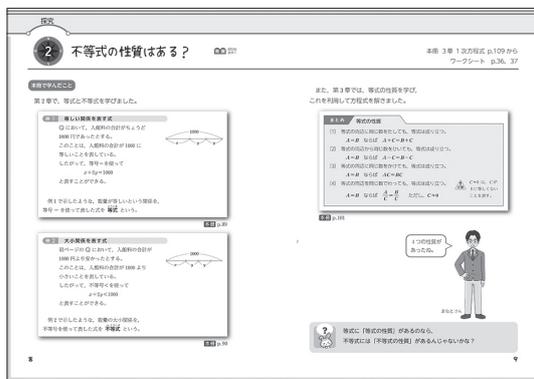
【文字式を利用する TRY】(本冊 p.88)



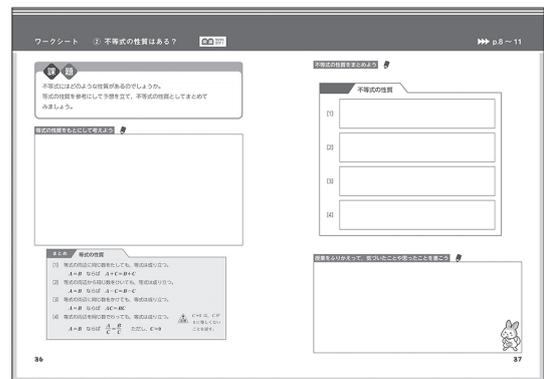
【本冊 p.100 TRY1 に対応したイメージコンテンツ】

### 別冊

別冊には、本冊の内容を深め、学びを発展させるための素材を掲載しています。別冊の内容は、生徒の学習状況に合わせて、時期や分量を自由に決めて取り扱うことができます。巻末に、活動を円滑に進めるためのワークシートを用意しています。



【探究題材：不等式の性質はある?】(別冊 p.8 ~ 11)



【ワークシート：不等式の性質はある?】(別冊 p.36 ~ 37)

# 4

生命や自然、伝統や文化、他国を尊重するとともに、社会をよりよくしようとする態度を養います。

- 福祉・資源・地球環境など私たちが抱える諸問題について、数学を学びながら自然な形で触れられるようにしています。
- 災害に備える意識が高まるように配慮しています。



### 地球温暖化問題

地球全体の気温が長期的に上昇する現象のことを、地球温暖化といいます。地球温暖化は、わたしたちの暮らしに影響をおよぼす重大な環境問題です。

【地球温暖化問題】(本冊 p.258 ~ 259)

### 見つけよう

### 音の速さ

雷は、夏に多く発生します。

雷の発生は、その音と光で知ることができます。雷の音を雷鳴、雷の光を稲光などといいます。みなさんも雷鳴を聞いたり、稲光を見たりしたことがあると思います。

そのとき、稲光が見えてから少し遅れて雷鳴が聞こえることがあったのではないのでしょうか。稲光の発生と同時に雷鳴も発生しているのですが、空气中を進む音の速さが光の速さより遅いため、音だけ遅れて届いているのです。(4)



【音の速さ(落雷)】(本冊 p.76)

## 2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
本冊全体		日本各地の話題・写真を取り上げ、我が国と郷土に対する理解が深まるようにしました。(第5号)	本冊全体
		授業における活動の指針になるようにペア学習、グループ学習を想定した対話を各所に設け、自他の敬愛と協力を重んじる態度が養われるようにしました。(第3号)	本冊全体
巻頭		「レポートの書き方」の中で、テーマの選び方を紹介し、真理を求める態度が養われるようにしました。(第1号)	本冊 p.12, 13
1章	正の数と負の数	「エラトステネスのふるい」を話題として取り上げ、数学の歴史及び文化や他国を尊重する態度が養われるようにしました。(第5号)	本冊 p.56
2章	文字と式	ごみの減量作戦に関する問題を通して、環境保全に対する意識が高まるようにしました。(第4号)	本冊 p.88
3章	1次方程式	具体的な問題の場面では「姉と弟」「兄と妹」のように、男女比率が均等になるようにし、男女の平等を重んじる態度が養われるように配慮しました。(第3号)	本冊 p.114, 116～118
4章	比例と反比例	電子レンジの加熱時間に関する問題を取り上げ、生活との関連を重視する態度が養われるようにしました。(第2号)	本冊 p.150, 151
5章	平面図形	問に関連して麻の葉文様を取り上げ、我が国の伝統を尊重しようとする態度が養われるようにしました。(第5号)	本冊 p.166
6章	空間図形	身のまわりにあるものの写真から平面や直線を見いだす問を通して、生活との関連を重視する態度が養われるようにしました。(第2号)	本冊 p.192～194
7章	データの活用	気温やアトラクションの待ち時間を分析の対象とすることで、生活との関連を重視する態度が養われるようにしました。(第2号)	1節全体
数学旅行		地球温暖化問題の話題を通して、環境保全に対する意識が高まるようにしました。(第4号)	本冊 p.258, 259
ぐんぐんのぼそ チャレンジ編		本文の内容を深めるための問題を充実させ、幅広い知識と教養が身につくようにしました。(第1号)	本冊 p.261～283
別冊全体		本冊で学んだ内容から新たな疑問や課題を見だし、数学的活動を通して主体的に解決を目指すようすを、生徒たちの具体的な対話として掲載することで、真理を求める態度や自主・自律の精神が自然と養われるようにしました。(第1号)	別冊全体
		数学の体系的つながりを重視し、自然な形で学びを深められるようにすることで、個に応じて能力を伸ばすことができるようにしました。(第2号)	別冊全体

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法や学校教育法に示された義務教育の目的・目標を達成するために、以下のような配慮をしています。

#### 小中の連携

- 中学1年の教科書は、問いかけ文に「～しましょう」という表現を用いて、小学校から中学校への学習の接続が円滑になるようにしています。
- 必要に応じて小学校の学習内容に触れ、内容の系統性を理解できるようにしています。(本冊 p.132, 206, 214 など)

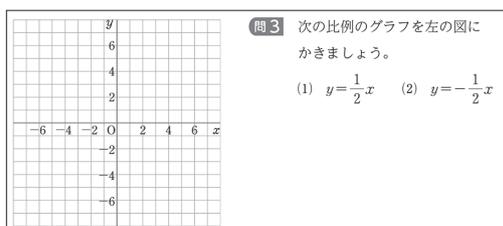
#### ユニバーサルデザイン

- 全体にわたってUDフォントを大きめのサイズで用い、文章は文節で改行して、読みやすくなるようにしています。
- カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚の特性によらず識別しやすい配色にしています。また、全体を、特別支援教育の観点から、専門家が検査しています。
- 奇数ページにツメ見出しをつけ、ページの検索性が高まるようにしています。
- 太字、下線、枠囲いなどを使用し、大事なところがわかりやすくなるようにしています。
- グラフや図をかく問題、長さや角度を測る問題などについては、教科書中にかき込みやすくなるように、小口(本の外側)に図を配置しています。

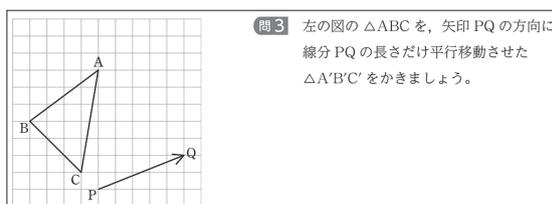
5  
章

平面図形  
—  
2  
●  
作図

ツメ見出し



(本冊 p.136)



(本冊 p.164)

#### 学びのつながり

- 中学1年の学習内容を、領域ごとに整理しやすい形でまとめています。(本冊 p.284 ~ 291)  
算数とのつながりも確認できるようにしています。

#### 他教科とのつながり

- アルファベットを取り上げ、数学で用いる場合とのちがいを示しています。(本冊 p.63)
- 水圧の話題を取り上げ、理科で学ぶ内容と数学の関連が理解できるようにしています。(本冊 p.255)

#### 学び方に対する意識を高めるくふう

- 「学習の進め方」のページを通して、主体的な学びの進め方を紹介しています。(本冊 p.8, 9)
- 「ノートづくり方」, 「レポートの書き方」を取り上げ、主体的に学習する態度を養えるようにしています。(本冊 p.10 ~ 13)
- 各項目の学びの主たる目標を、マークで具体的に示し、学習の見通しがもてるようにしています。
- 後見返しのチェックシートで、「何ができるようになったか」を自己評価できるようにしています。

#### 防災・減災への取り組み, 安全教育

- 落雷, 地震, 津波などの災害への備えを取り上げ、防災・安全意識に繋がるようにしています。(本冊 p.76, 153 など)

# 編修趣意書

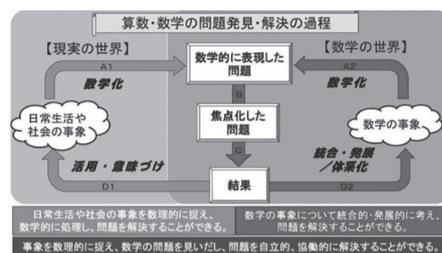
(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-57	中学校	数学	数学	1
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104 数研	706 707	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学1  見方・考え方がはたらき, 問題解決のチカラが高まる これからの 数学1 探究ノート		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

**1** 日々の学びを通して, 生徒たちが自分で考え, 問題解決に向かう力を身につけることができるようにつまみしています。

- ◆ 右の図の問題発見・解決の過程に基づき, 学習内容を習得できるようにしています。それぞれの場面においてポイントとなる箇所には, キャラクターたちのリアルな対話が記されています。この教科書を使う生徒たちが**数学的な見方・考え方をはたらかせ**るきっかけとなり, **主体的・対話的で深い学び**を実現します。



(学習指導要領解説より引用)

### 既習事項をもとに考える

(本冊 p.174)

### 決まりを見いだす

(本冊 p.65)

### 多様な見方をする

(本冊 p.128)

### 誤りをもとに考える

(本冊 p.67)

## 2

小学校もふくめた学習内容のつながりに配慮し、  
基本的な知識・技能を確実に身につけることができるようにしています。

- ◆ 各章の初めに「ふりかえり」として、その章の内容に関係する既習事項を、確認問題とともにまとめています。  
また、本文中においても既習事項を確認できるようにしています。
- ◆ 新たな学習事項と既習事項とのつながり、共通点やちがいがわかるように記述しています。
- ◆ 例はなるべく丁寧に示すようにしています。また、例に汎用性をもたせつつ、例と問の間に大きなギャップが出ないように配慮しています。
- ◆ 巻末演習ページ「チャレンジ編」にも標準的な問題を多数掲載しています。また、弊社ホームページを通じて、教科書の補充問題に取り組みやすくなっています。

ふりかえり

1章 正の数と負の数 の学習の前に

1. 分数と小数

1	2	3	4							
5	5	5	5							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1

2. 計算の順序

[1] かっこの中 [2] ×、÷ [3] +、- の順で計算する。また、たし算どうし、かけ算どうしは計算する順序を変えても同じ答えになる。

(1) 8割を分数で表しましょう。  
(2) 1/5は分数で表しましょう。  
(3) 2/3と5/6で大きい方を表しましょう。

【既習事項の振り返り】(本冊 p.14)

ふりかえり

● 計算の順序

▶ 14 ページ

(本冊 p.30)

ふりかえり

● 速さ

(速 さ)=(道のり)÷(時 間)  
(道のり)=(速 さ)×(時 間)  
(時 間)=(道のり)÷(速 さ)

(本冊 p.72)

問5 次の計算をしましょう。

(1)  $(+5)+(+7)$  (2)  $(+4)+(-3)$   
 (3)  $(-2)+(-8)$  (4)  $(-9)+(+6)$   
 (5)  $(-4)+(+5)$  (6)  $(-7)+(+7)$   
 (7)  $(+2)+0$  (8)  $0+(-5)$

Link 補充



1/8

$(+9)+(+6)$

=

【問いの補充問題への Link アイコン】(本冊 p.29)

<https://www.chart.co.jp/dl/su/jhs/01/index.html>

## 3

思考力・判断力・表現力を高めることができるように、  
知識・技能を活用する機会、学びを発展させる機会を豊富に設けています。

- ◆ 学んだ内容を活用する機会を豊富に設け、**数学の有用性を感じられるように**しています。生徒が多様な考えを出し合いながら、解決を目指す活動が行えます。
- ◆ Link アイコンで**全国学力・学習状況調査問題とつながり**、より効果的な学習を行うことができるようになっています。
- ◆ 各章の**学びから発生する自然な疑問**を扱った題材や**日常生活の中にある数学**に着目した題材を別冊で取り上げ、**知識・技能の活用や学びの発展の機会**がもてるようにしています。

正方形じゃなくて、正五角形の形にマグネットを並べたら、総数を求める式はどう変わるのかな？

課題

マグネットを正五角形の形に並べます。  
1 辺に 4 個のマグネットを並べたときは、右の図のようになります。  
1 辺に  $x$  個のマグネットを並べて正五角形をつくるとき、必要となるマグネットの総数は、 $y$  を使ってどのような式で表せますか。

【マグネットの並べ方を変えて考察】(別冊 p.5, 6)

等式に「等式の性質」があるのなら、不等式には「不等式の性質」があるんじゃないかな？

課題

不等式にはどのような性質があるのでしょうか。  
等式の性質を参考にして予想を立て、不等式の性質としてまとめてみましょう。

【等式の性質から不等式の性質を考える】(別冊 p.9, 10)

TRY1 およその数を知る方法を考えよう。

ひびきさんたちの学校では、ペットボトルのキャップを回収する活動を行っています。たくさん集まったペットボトルのキャップの個数を知りたいとき、どのようにすれば効率よくおよその個数を知ることができそうですか？方法を考えて説明しましょう。

ここでは、ペットボトルのキャップはすべて同じ種類であるものとする。

ひびきさん: 1 個 1 個数えるしかないのかな。

先生: 大量にあるとたいへんですよ。ほかにいい方法はありませんか？

かなさん: 大体同じ分量になるように分けていって、そのうち 1 つだけを数えるとか？

みかさん: 分量って何のこと？

かなさん: 山にしたもの高さか、重さということになるのかな。

先生: すべてを数えるという方法以外に、別の数量に着目するという方法がありそうですね。

【比例を利用して解決する】(本冊 p.148)

## 4 ランドルト環をつくってみよう

課題

直径を自由に決めて、ランドルト環をかいてみましょう。  
あなたのつくったランドルト環は、5 m 離れた位置に置いたとき、視力いくつ以上を測るのに適したものになるでしょうか。  
また、そのランドルト環で視力 1.0 を測ることはできるでしょうか。

【自作のランドルト環で視力を測る】(別冊 p.16 ~ 19)

## 4 学習内容の習得と合わせて、学び方も身につくようにしています。

巻頭に、学び方に関する紹介のページを設けています。

### ◆ 学習の進め方

グループ学習を行ったり、発表したりする際の注意点をまとめています。

### ◆ ノートのつくり方

ノートのとり方全般に関する注意点をまとめています。また、書き方の具体的な注意点がある場合は、「Note」として、本文脇に示すようにしています。

### ◆ レポートを書こう

レポートの書き方についてまとめています。レポートを書くときの注意点だけでなく、テーマの選び方についても触れています。

### ◆ ICTの活用

「補充」「資料」「イメージ」「考察」の4種類のアイコンは、補助教材へのリンクマークです。家庭学習にも活用することができます。

「データの活用」の章初めには、インターネットリテラシーに配慮した文言を記載しています。

インターネットを利用してデータを集めるときは、次のような点に注意しましょう。

- 1 さがす前に、どのようなデータが最適か、よく検討する。
- 2 信頼できる場所の、できるだけ新しいデータを利用する。
- 3 個人を特定できるような情報は、むやみに使用しない。

【インターネットの利用上の注意】（本冊 p.225）

#### □グループで話し合うときは

- ・自分の意見を言うときは、考えていることをわかりやすく伝えましょう。
- ・まちがっているかもしれないと思っても、積極的に発言しましょう。
- ・ほかの人の意見をよく聞きましょう。また、ほかの人の意見に対して思ったことを伝えましょう。
- ・誰がどんなことを言ったか、書きとめておくようにしましょう。
- ・わからないと思ったことは、質問しましょう。
- ・全員が発言できるようにしましょう。



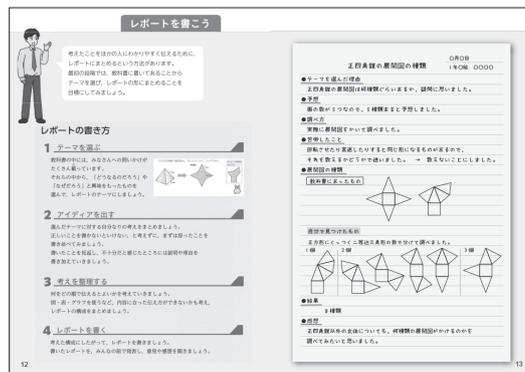
【学習の進め方】（本冊 p.8, 9）

#### Note

等号の位置  
方程式を解くときは、＝を縦にそろえて書くことよ。

【Note】

（本冊 p.102）



【レポートを書こう】（本冊 p.12, 13）

## 5 教科書のつくりにも配慮して、学習効果が高まるようにしています。

◆ 1時間の区切りが、ページの途中にならないようにしています。

◆ 重量が生徒の負担にならないように、本冊と別冊に分けています。また、印刷には軽くて丈夫な紙を使用しています。

◆ ユニバーサルデザインに基づいてつくられています。文字は全体にわたってUDフォントを大きめのサイズで用い、本文は文節で改行して、読みやすくなるようにしています。

また、太字、下線、枠囲いなどを使用し、大事なところがわかりやすくなるようにしています。

◆ 色覚の特性によらず識別しやすい配色にしています。

◆ 印刷には、植物油インクを使用し、環境に配慮しています。

◆ 本冊、別冊とも、堅牢なつくりになるように製本しています。また、生徒の安全面を考慮して、針金を使わない製本様式を採用しています。

これからの 学びの形に合った  
数学 教科書です。

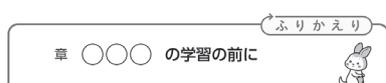


## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1章の学習の前に <b>1章 正の数と負の数</b> 1 正の数と負の数 2 加法と減法 3 乗法と除法 4 いろいろな計算  問題	A 数と式 (1) A(1) ア (ア) A(1) ア (イ) A(1) イ (ア) A(1) ア (イ) A(1) イ (ア) A(1) ア (ウ) A(1) イ (イ) 内容の取扱い (1)(2)	14 ページ <b>15 ~ 61 ページ</b> 16 ~ 25 ページ 26 ~ 37 ページ 38 ~ 49 ページ 50 ~ 59 ページ  60 ~ 61 ページ	25
2章の学習の前に <b>2章 文字と式</b> 1 文字と式 2 文字式の計算 3 文字式の利用 問題	A 数と式 (2) A(2) ア (ア) A(2) ア (イ) A(2) ア (ウ) A(2) イ (ア) A(2) ア (エ) 内容の取扱い (3)	62 ページ <b>63 ~ 95 ページ</b> 64 ~ 77 ページ 78 ~ 86 ページ 87 ~ 91 ページ 92 ~ 93 ページ	19
3章の学習の前に <b>3章 1次方程式</b> 1 1次方程式  2 1次方程式の利用 問題	A 数と式 (3) A(3) ア (ア) A(3) ア (イ) A(3) イ (ア) 内容の取扱い (4) A(3) イ (イ)	96 ページ <b>97 ~ 121 ページ</b> 98 ~ 112 ページ  113 ~ 119 ページ 120 ~ 121 ページ	16
4章の学習の前に <b>4章 比例と反比例</b> 1 比例  2 反比例 3 比例と反比例の利用 問題	C 関数 (1) C(1) ア (ア) C(1) ア (イ) C(1) ア (ウ) C(1) ア (エ) C(1) イ (ア) C(1) ア (イ) C(1) ア (エ) C(1) イ (ア) C(1) イ (イ)	122 ページ <b>123 ~ 155 ページ</b> 124 ~ 138 ページ  139 ~ 147 ページ 148 ~ 153 ページ 154 ~ 155 ページ	19
5章の学習の前に <b>5章 平面図形</b> 1 平面図形 2 作図 3 円 問題 発展 三角形の外心, 内心	B 図形 (1) B(1) ア (イ) B(1) イ (イ) B(1) ア (ア) B(1) イ (ア) B(1) イ (ウ) B(1) イ (ウ) 内容の取扱い (5)	156 ページ <b>157 ~ 185 ページ</b> 158 ~ 167 ページ 168 ~ 177 ページ 178 ~ 181 ページ 182 ~ 183 ページ 184 ~ 185 ページ	14
6章の学習の前に <b>6章 空間図形</b> 1 空間図形 2 立体の体積と表面積  問題 発展 立体の切断	B 図形 (2) B(2) ア (ア) B(2) イ (ア) 内容の取扱い (6) B(2) イ (ア) 内容の取扱い (6) B(2) ア (イ) B(2) イ (イ)	186 ページ <b>187 ~ 223 ページ</b> 188 ~ 205 ページ 206 ~ 220 ページ  221 ~ 222 ページ 223 ページ	20

7章の学習の前に <b>7章 データの活用</b> 1 データの整理とその活用 2 確率 問題	D データの活用 (1)(2) D(1) ア(ア) D(1) ア(イ) D(1) イ(ア) D(2) ア(ア) D(2) イ(ア)	224 ページ <b>225 ~ 248 ページ</b> 226 ~ 243 ページ 244 ~ 247 ページ 248 ページ	11
<b>数学旅行</b> 暗号と素数 塵劫記 ディオファントスの一生 深海の水圧 封筒で立体を作ってみよう 地球温暖化問題 降水確率		<b>249 ~ 260 ページ</b> 250 ~ 251 ページ 252 ~ 253 ページ 254 ページ 255 ページ 256 ~ 257 ページ 258 ~ 259 ページ 260 ページ	
<b>ぐんぐんのぼそ</b> <b>チャレンジ編</b>		<b>261 ~ 283 ページ</b>	
		計	124

以下の内容と別冊は、生徒の実態や学校の状況に応じて取り扱うことができます。



### 別冊の内容

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>【探究】</b> ① 1 辺に $x$ 個ずつ並べたマグネット ② 不等式の性質はある? <b>【発展】</b> ③ 多面体の規則を見つけよう <b>【発展】</b>		4 ~ 7 ページ 8 ~ 11 ページ 12 ~ 15 ページ	
<b>【課題学習】</b> ④ ランドルト環をつくってみよう ⑤ 機関庫の模型を作ろう ⑥ きれいなおうぎ形 ⑦ 日本の伝統的な文様		16 ~ 19 ページ 20 ~ 23 ページ 24 ~ 27 ページ 28 ~ 33 ページ	

# 編 修 趣 意 書

( 発展的な学習内容の記述 )

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-57	中学校	数 学	数 学	1
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104 数研	706  707	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学1  見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの 数学1 探究ノート		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
本冊 94, 95	薬師算	1	2 内容 A 数と式 (2) イ(ア) 「具体的な場面と関連付けて、一次式の 加法と減法の計算の方法を考察し表現す ること」	2
本冊 184, 185	三角形の外心, 内心	1	2 内容 B 図形 (1) イ(ウ) 「基本的な作図や図形の移動を具体的な 場面で活用すること」 3 内容の取扱い (5) 「円の接線はその接点を通る半径に垂直 であること」	2
本冊 223	立体の切断	1	2 内容 B 図形 (2) ア(ア) 「空間における直線や平面の位置関係を 知ること」	1
別冊 8～11 36, 37	不等式の性質はある？	1	2 内容 A 数と式 (3) ア(ア) 「方程式の中の文字や解の意味を理解 すること」  3 内容の取扱い (3) 「大小関係を不等式を用いて表す」	6
別冊 12～15 38, 39	多面体の規則を見つけよう	2	2 内容 B 図形 (2) イ(ア) 「平面上の表現から空間図形の性質を 見いだしたりすること」	6
合 計				17

(「類型」欄の分類について)

- 1 ……学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 ……学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容